

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	172	課コード	0302	会計種別	一般会計	予算の種類	□政策	■経常	□なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	-----	-----	-----

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	まちづくり協議会への近隣センター施設運営業務委託		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	市民生活部・市民活動支援課	
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市				
	⑤事業期間	令和2年度～			⑥担当職員数	6人 (換算人数)		1.35人		
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	94,294千円 (うち人件費 12,015千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	41302	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)
(2) 目的	施策目的・展開方向	まちづくり協議会などのコミュニティ活動を支えるため、近隣センターなどのコミュニティ施設の適切な維持管理を行うとともに、より利用しやすい施設運営に努めます。また、近隣センター利用者の利便性を向上するために導入した、インターネットによる予約システムを適正に維持管理していきます。			事業目的	近隣センターを活動拠点として、地域住民相互のふれあいを促進し、地域のまちづくりの推進を図るため、まちづくり協議会の活動に対し委託を行う。				
(3) 事業内容	内容	コミュニティ活動を活性化するために、各区域のまちづくり協議会へ事業委託し、区域に合ったコミュニティ事業を行う。 事業内容は、各まちづくり協議会が企画から実施までを区域の特性を活かし行うこととしている。			当該年度執行計画	令和3年4月 各まちづくり協議会へ運営業務委託を行う。 根戸まちづくり協議会の体制の整備を引き続き行う。				
		当該年度活動結果指標	まちづくり協議会主催事業数	単位	件	想定値	80		実績値	
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値
当該年度	まちづくり協議会主催の事業計画どおり、事業を行い、地域の活性化を図る。				間接	まちづくり協議会主催事業実施率		%	80	100
令和4年度	まちづくり協議会主催の事業計画どおり、事業を行い、地域の活性化を図る。				間接	まちづくり協議会主催事業実施率		%		100
令和5年度	まちづくり協議会主催の事業計画どおり、事業を行い、地域の活性化を図る。				間接	まちづくり協議会主催事業実施率		%		100
(7) 事業実施上の課題と対応	まちづくり協議会役員の担い手が不足している。また、役員の高齢化が懸念されている。				代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		布佐南地区まちづくり協議会	7,196	布佐南地区まちづくり協議会	7,227	布佐南地区まちづくり協議会	7,300	布佐南地区まちづくり協議会	7,300	
		天王台北地区まちづくり協議会	6,915	天王台北地区まちづくり協議会	6,822	天王台北地区まちづくり協議会	6,900	天王台北地区まちづくり協議会	6,900	
		根戸地区まちづくり協議会	6,903	根戸地区まちづくり協議会	6,403	根戸地区まちづくり協議会	7,000	根戸地区まちづくり協議会	7,000	
新木地区まちづくり協議会	7,757	新木地区まちづくり協議会	7,745	新木地区まちづくり協議会	7,800	新木地区まちづくり協議会	7,800			
湖北台地区まちづくり協議会	8,644	湖北台地区まちづくり協議会	8,632	湖北台地区まちづくり協議会	8,700	湖北台地区まちづくり協議会	8,700			
久寺家地区まちづくり協議会	6,430	久寺家地区まちづくり協議会	6,420	久寺家地区まちづくり協議会	6,500	久寺家地区まちづくり協議会	6,500			
こもれびまちづくり協議会	11,338	こもれびまちづくり協議会	11,190	こもれびまちづくり協議会	11,200	こもれびまちづくり協議会	11,200			
我孫子南まちづくり協議会	8,205	我孫子南まちづくり協議会	8,241	我孫子南まちづくり協議会	8,300	我孫子南まちづくり協議会	8,300			
ふさの風まちづくり協議会	7,137	ふさの風まちづくり協議会	7,124	ふさの風まちづくり協議会	7,400	ふさの風まちづくり協議会	7,400			
我孫子北まちづくり協議会	11,741	我孫子北まちづくり協議会	11,731	我孫子北まちづくり協議会	12,600	我孫子北まちづくり協議会	12,600			
パート会計年度(事務補助)0.3人	707	パート会計年度(事務補助)0.3人	744	パート会計年度(事務補助)0.3人	744	パート会計年度(事務補助)0.3人	744			
予算(決算)額	合計		82,973	合計		82,279	合計		84,444	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	
	一般財源	82,973		82,279		84,444		84,444		
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0		0		0		0		
(10) 人件費等	換算人数(人)	1.35		1.35		1.35		1.35		
	正職員人件費	11,745		12,015		12,015		12,015		
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0		
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	94,718		94,294		96,459		96,459			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	1,183.98千円/件		1,178.68千円/件							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)														
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討					
	地域コミュニティの推進を図るため、近隣センターを活動の拠点として地域コミュニティ活動を実施しているまちづくり協議会へ委託することにより、地域コミュニティの活性化やまちづくりの活性化を図る。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要					
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	理由		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		理由		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他		理由		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要	
	理由		●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		理由		<その他の内容>		理由		<その他の内容>		○要 ○不要	
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		理由		<期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要	
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ●③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他		近隣センターの管理運営をまちづくり協議会に委託している。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下							
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		理由		<想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他		電気・ガス・水道の使用量の低減に努めている。				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった							
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		達成率(%)		理由		<目標を達成した理由/未達成となった原因>		○要 ○不要	
	80	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)		(f/b)×100							
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について		理由		<想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要	
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現有体制での対応 ■⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)		(g/c)×100		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過					
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		理由		理由		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		○要 ○不要	
	0.11	単位	費用単位		実績値(h)		対目標値(%)		(h/e)×100					

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										

評価	評価コメント	改善案及び展開方向
----	--------	-----------